

発刊にあたって

首都圏に位置する利便性の高い立地にある川崎市は、多摩川をはじめとする自然環境にも恵まれ、我が国有数の産業集積、市民の皆様や多くの企業・団体などとの協働による文化・芸術やスポーツのまちづくりなど、魅力あふれる都市として発展を続けています。国や多くの自治体が人口減少にあるなか、本市では人口増加が続き、本年4月には政令指定都市7番目の人口規模となりました。

一方、本市においても、当面は人口増加が続くものの、2025年から生産年齢人口が減少し、2030年をピークに総人口は減少へと転じることが見込まれております。そうした社会経済状況の変化に柔軟に対応し、「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」を進める上で、精度の高い統計情報は、その基礎資料として大変貴重なものです。

この「統計データブック」は、「川崎市統計書(平成26年版)」及び「大都市比較統計年表(平成25年版)」などから、市民生活に関わりの深い統計情報を中心に、分野別、体系的に整理し、グラフや解説を加えて分かりやすく編集しています。

本冊子を通して多くの皆さんに活気溢れる本市の現況について理解を深めていただければ幸いです。

平成27(2015)年9月

川崎市長 福田 紀彦



平成27年版 川崎市統計データブック 目次

I 川崎市民の住環境	1				
1 川崎市の住宅のすがた	2	37	犯罪認知件数	46	
2 空き家の現状	4	38	火災発生件数	47	
3 世帯の居住環境	5	39	交通事故発生状況	48	
4 1人暮らしの現状	6	40	子ども・学校	49	
5 高齢者の住環境	7	41	保育所の概況	50	
6 省エネルギー設備の現状	8	42	小学校・中学校の概況	50	
II 市勢データ	9	43	福祉・健康	51	
1 人口	10	44	生活保護の概況	51	
2 区別人口	11	45	出生と死亡	52	
3 人口の自然増減と社会増減	12	46	着工新設住宅戸数	53	
4 年齢別人口	13	47	建て方別住宅の概況	54	
5 区別昼夜間人口比率	14	48	選挙	55	
6 労働力状態	15	49	財政	56	
7 外国人住民人口	16	50	市民意識	57	
8 婚姻と離婚	17	51	「ちょっと一服」	58	
9 事業所	18	52	かわさき市民の消費傾向		
10 区別の民営事業所	19	53	～家計調査結果から～		
11 区別の産業別事業所数	20	III 大都市データ	59		
12 区別の産業別従業者数	21	1 人口・世帯数及び面積	60		
13 従業者規模別の概況	22	2 人口動態	60		
14 資本金階級別の概況	23	3 年齢別人口	61		
15 農業	24	4 就業者数	61		
16 区別の農業概況	25	5 事業所	62		
17 工業	26	6 工業	62		
18 区別の工業概況	27	7 商業	63		
19 業種別の概況	28	8 貿易	63		
20 従業者規模別の概況	29	9 住宅	64		
21 商業	30	10 消費者物価地域差指数	64		
22 卸売業の概況	31	11 市民経済計算	65		
23 小売業の概況	32	12 治安及び災害	65		
24 区別の卸売業・小売業	33	「ちょっと一服」	66		
25 大型小売店の概況	34	各区に人が最も集まったのはいつか			
26 産業・生活	35	～社会増減率の推移から～			
27 卸売市場	36	IV 川崎市近隣市区データ	67		
28 賃金・労働時間	37	1 川崎市近隣市区地図	68		
29 一般雇用保険	38	2 データ一覧	69		
30 一般職業紹介状況	39	V 基礎データ	71		
31 経済活動別市内総生産(名目)	40	1 川崎市	72		
32 都市生活基盤	41	2 川崎区	73		
33 水道	42	3 幸区	73		
34 下水道	42	4 中原区	74		
35 市バスの運輸状況	43	5 高津区	74		
36 主要駅の1日平均乗車人員	44	6 宮前区	75		
37 ごみの処理状況	45	7 多摩区	75		
		8 麻生区	76		

利用上の注意

統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」、「0.0」……単位未満

「-」……皆無又は定義上該当数字がないもの

「▲」……マイナス又は比較減を表わす

「X」……該当数字はあるが発表をさしひかえたもの

「…」……数字が得られないもの